



函館白百合学園中学高等学校
 発行者：高橋 真理子
 発行日：令和3年5月15日（土）

ようこそ まりにの部屋へ



従順：勤勉：愛徳

心は一つ

「One for all All for one」



新型コロナウイルスの感染者数が全国的に再拡大し、道内でも過去最多を更新、毎日緊張を覚えています。学校におけるコロナ対策として、マスク、手洗い、消毒、換気、そして黙食。中でも強化しているのが黙食です。昼食時は、校内において唯一マスクを外す時間帯です。短時間で静かに食べる黙食を励行していますが、昼食時は生徒が一番心和むときでもあります。学習、部活動、学校行事など教育活動を止めないためにも、今こそ、一人一人が周りのみんなを思い、コロナ対策に取り組んでいくことが大切です。

「One for all All for one」、みんなは1人のために、1人はみんなのために。学校が1（ワン）チームとなって大切な命を守っていきましょう。



部活動が熱い時期に入ってきました！

部活動報告 バスケットボール部 第4回道南中学校春季バスケットボール大会 (4/29)

自分の役割をしっかりと果たせました。

私はバスケットボールのルールなどを知らないまま入部することを決めたので、選手ではなくマネージャーを選びました。それでも覚えることは多く、一日一日がいつもより早く感じていました。でも、先輩方が優しく丁寧に教えてくださったおかげで、半年ほどで色々なことを覚えることができました。

初めての大会は、自分の思う通りにはいかなかったです。けれど、回数を重ねていくうちに自分の役割が分かるようになっていきました。そして、先月、私たちは戸倉中学校と乙部中学校と合同チームを組んで春季大会に行ってきました。コロナウイルス感染症が流行っていて今まで大会を行うことが無かったので、とても緊張しました。試合に出ない私が緊張しているのだから選手はもっと緊張していたと思います。それでも私たちは全ての試合に勝つことができました。とても嬉しかったです。自分の役割もしっかり果たせたような気がします。次回の大会は、私にとって最後の大会なので、自分の役割を考えながら頑張ろうと思います。



(中3A 三浦 ゆりあ)

部活動報告 テニス部 高体連函館支部春季テニス大会(4/22~4/23)

「強くなりたい!」と改めて決意

団体戦第2位。私たちは4月22日と4月23日に行われた高体連函館支部春季テニス大会に向けて、苦手を克服したり、得意を伸ばしたり、部内戦を重ねて練習し準備してきました。それにもかかわらず、団体の決勝戦相手に一歩及びませんでした。悔しい、強くなりたいと改めて心の底から思ったそんな試合でした。私たちはこの悔しさをこれからの闘争心の糧にするよう忘れません。また、大会を通して見つけた課題を、どうしたら解決できるかもっとチームみんな考えていかなければならないと思いました。全体として、サーブゲームをキープすること、安定したリターン、前に一歩詰め



攻めるポイントの三つ。生徒主導のメニュー考案や部員同士のアドバイスはもちろん、ミスすることを恐れずに苦手な技を積極的に、かつ徹底的に使い、克服しようと思っています。5月17日から始まる支部大会まで時間は短いですが、一個でも多く課題を解決し、出来ることを増やしつつ自信をつけていきたいです。支部大会地区の第二シード、挑戦者として正々堂々と挑むことをここに誓います。(3L 林 優芽)

部活動報告

バドミントン部 バドミントン北海道予選会(5/7~5/9)

出場できたことに感謝！ 高体連に向けて気を引き締めます

私は、5月7日から苫小牧市で行われた全道大会に出場しました。



全道大会であることと、新型コロナウイルス感染症対策とで常に緊迫した雰囲気でしたが、中でも今回出場できたことに感謝しています。大会直前になって棄権した学校や、やむをえず途中で棄権をした選手もいた中で、無事に試合を終えて帰ってくることができて良かったです。

結果は、ダブルスが二回戦敗退、シングルスがベスト16でした。こんな状況下での大会だったので本当の実力ではないように思えて複雑でしたが、結果を残せたことは嬉しかったです。

自分自身、大会前に怪我をしてしまったり、新型コロナウイルス感染症対策が強化されている時期の遠征で不安も大きかったですが、何事もなく終わることができて安心しています。

今回の大会で見た上位選手の技術を少しでも身に付け、課題を改善し、高体連に向けてさらに気を引き締めていこうと思います。(2H 高橋 遥奈)

部活動報告

吹奏楽団 スプリングコンサートを終えて(4/29)

温かい拍手に感謝の気持ちを実感

私たちは、4月29日に函館市民会館で開催されたスプリングコンサートに参加しました。一年生も加わった新体制での初めてのステージで少し緊張しましたが、本番では楽しみながら演奏することができました。新型コロナウイルス感染症拡大により、大きなホールで演奏できる機会が減ってきている中で、このコンサートに参加できたことはとても嬉しかったです。また、会場に足を運んでくださった方々が、私たちの演奏を聴いて私たちに拍手を送ってくださることがとてもありがたいことだと改めて実感しました。これからも常に感謝の気持ちを忘れずに、いろいろな演奏会やコンクールに向けて練習に励みたいと思います。(3B 熊谷 綾音)

♪演奏曲:「さくらのうた」「アフリカン・シンフォニー」



中学1年A組……和太鼓の練習が始まりました -Junior high school-

少しでも先生の音に近づけるように！

中学1年生は、毎年、総合的な学習の時間を使って和太鼓に取り組んでいます。講師は技術科の小山先生です。今年も、さっそく和太鼓の稽古が始まりました。初日は、先生の叩く太鼓の音のあまりの迫りにびっくりしたようです。

まだとても先生のような見事な音は出せませんが、少しでも先生の音色に近づけるよう、これから一生懸命練習していきましょうね。今年の曲も「ぶち合わせ太鼓」です。



LB(特別進学)コース……LB特講が始まりました -high school-

日々の努力の積み重ねが進路達成につながります！

LB(特別進学コース)では、「LB特講」と称し、放課後に国語、英語、数学の進学講習をしています。このLB特講の最大の特徴は、部活動後に参加できる時間割になっているということです。火曜日と木曜日が(高3の一部の生徒は月



曜日、金曜日も)7時間目まで授業がある上に、部活動までやって、その後も勉強をするなんて……と思うかもしれませんが、この特講を始めてから、多くの卒業生が「受験体力が付いた」「長時間でも粘れる我慢力が付いた」と感想を述べており、志望大学合格に大いに役立ったと言っています。高校2、3年生はすでに4月から始まっていますが、高校1年生については、まずは高校生活に少し慣れてもらうということで、5月18日(火)からスタートする予定です。

LB 特講の時間割 第1講… 16:45～17:45 or 15:45～16:45
 自習時間… 17:50～18:40 or 16:50～17:50 ←講習担当者が付き添い質問を受け付けます。
 第2講… 19:00～20:00 ←部活動生が参加

LB 特講に参加してから3年目を迎えて…主に第1講+自習に参加 (3L 朝倉 美月)

LB 特講を受講して3年目を迎え、改めてLB 特講の良さを実感しています。

私が1年生の時、LB 特講には、「面倒くさいな」などマイナスのイメージばかり持っていました。しかし、受講してみると、授業では得られない知識に加えて、受験に重きを置いた重要な知識を得られるので、受けていくたびにLB 特講の必要性を実感しました。私は塾に通っていませんが、LB 特講があるおかげで受験対策をすることができています。

また、第1講は、終礼が終わってすぐに始まるので、集中を続けている状態で受けることができることがとてもいいと思います。一年生の時よりも二年生、二年生の時よりも三年生、と学年が上がるごとに特講で学ぶことも難しくなっています。「受けたくないな」と思うってしまう日もあるかもしれませんが、これからもLB 特講を有効活用し、受験に向けてしっかりと対策をとっていきたいと思います。

LB 特講に参加してから3年目を迎えて…第2講に参加 (3L 加藤 さくら)

1年生の初め、私はLB 特講のことを正直「だるいな」と思っていました。先輩たちが部活動を終わった後に特講にしっかりと出席しているのをぼけーっと見ていました。ですが、何回か第2講に出席していると次第に慣れてきて、何か楽しいなあと思うようになりました。決して勉強が好きというわけではありません。しかしなぜかそう感じてしまうのです。私としては特講には授業にはないジワジワとした楽しさがあると思います。

さて、そんな私も今年で3年生になり、特講も3年目となります。3年生の中頃から、第1講と第2講の区別がなくなり、ぶっ通しの講義になります(部活動生の多くが引退するため)。あと少しで第2講が終わるのには悲しさもありますが、これまでがんばった達成感もまた込み上げてきます。あと残すこと数回の第2講ですが、第2講が始まるまでの何とも言えない時間を友と過ごすこと、外が暗い中で講義を受けること——これらは高校でしかできないことだとしみじみ噛みしめています。もう残り少しの第2講と最後の高校生活を大切に過ごしていきたいと思っています。



看護医療系進学コース…総合的な探究・看護講習が始まりました -high school-

医療の世界は厳しいから…覚悟を決めて進もう!

看護医療系進学コースの高校1年生と高校2年生は、授業のある土曜日に総合的な探究の時間を設けています。生命(人体)や医療についてビデオを用いて学んだり、医療系大学や専門学校による進学に関わる講演、病院の職員による講演など、医療系の進路達成に向けて様々なプログラムが用意されています。市内総合病院での医療実習や、市内介護福祉施設への訪問実習も予定されていますが、昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で多くの実習関係のプログラムが実施されませんでした。今年も、新型コロナウイルス感染症の流行状況によって実施できない可能性があります。しかし、講演については Zoom などオンラインを用いて数多く実施しており、自分の将来について考える時間を設けることができました。今年も、コロナ禍ではありますが、工夫しながら多くのプログラムを実施できるように現在模索中です。



さらに、高校3年生を対象に看護講習もスタートしました。国語、英語、数学の3教科です。他のコースの生徒も受講できます。毎年、この講習に参加している生徒の多くが、志望校に合格しています。



「読む力」「書く力」を付けるためには新聞を読もう！

北海道新聞社から講師をお招きして、総合進学コースの高校3年生を対象として毎年恒例の出前講座が行われました。「読む力」や「書く力」を付けるうえで、新聞はとても役立つことや、時間が無い時の新聞の読み方のコツなど、いろいろなお話をしてくださいました。

高校3年生 北海道新聞 出前講座 (3A 工藤 小春)

今回の出前講座を受けて、新聞の楽しみ方を学びました。この講座を受ける前は、番組表か天気予報、目に入った記事しか見ていませんでした。新聞の読み方を学んで、まずはすべての見出しを読み、そこから気になる記事に進む。そういった手順で見ることにより、朝の多忙な時にサクッと読むことができます。それに加え、日本国内の様々なニュースをみることで、進学のための面接や小論文を書くことなどにも使えるといった利点があります。このように新聞を読むことによって得られるものが多くあることを知り、これからはもっと新聞を読んでみようと思いました。

■新コーナー:学校長通信版「ステラ会」です。■

Stella de lux - 星の光 -

ステラ会に変わって

暁の星寮のStella(星) Maris(海の)は「海の星」を意味しています。古来、船乗りにとって星は航海の導き手でした。いつしか人生の導き手である聖母への崇敬と重なり、聖母マリア御自身を表すようになりました。聖歌あめのきさきでは「海の星と輝きます♪」と歌われています。ちなみに、海の星はこぐま座のアルファ星、いわゆる北極星のことです。

宗教科は昨年度まで月に一度Stella Marisで本校保護者向けのキリスト教、聖書勉強会であるステラ会を実施しておりましたが、コロナ禍が続く今年度は「Stella de lux(ステラ・デルクス)」と名前を変え、こちらの紙面をお借りした読み物として実施していくこととなりました。ミッションスクールである本校の建学の精神をご理解いただくため、少しでもお役に立てれば幸いです。(宗教科 関谷先生)

掲示板



◎ 5月17日・19日・21日内科検診

5/17(月)…高1AB 5/19(水)…高1H1・高1H2
5/21(金)…高1L・中1A 全て13:00からの予定です。

ジャージを持ってきてください。

◎ 5月18日(火)尿検査②



今回も出来なかった人は、5/25(火)になります。

◎ 5月27日(木)高1・高2貧血検査



高校2年生は昨年度実施できなかったため、今年実施します。

◎ 5月17日(月)～5月29日(土)教育実習生がきます。

今年も教育実習生が1名来ます。教科は家庭科です。次号で詳しいことを紹介します。

編集後記

今回も書かないといけな
のが心苦しいのですが、コロナ情
勢が厳しくなってきました。で
も、生徒の皆さんは感染予防に努
めていますね。これからも気を抜
かず、手洗い、消毒、換気、適
当な距離、そして黙食！ 当たり
前のことをやっていきましょうね。

高体連が近いです。今までの練
習の成果を存分に発揮して頑張
ってください。応援しています。
「コロナに負けるな！」④